

## 短報

## 茨城県からホソミイトトンボ（トンボ目，イトトンボ科）を初記録\*

二橋 亮\*\*，\*\*\*

(2019年10月8日受理)

**The First Record of *Aciagrion migratum* (Selys, 1876)  
(Odonata, Coenagrionidae) from Ibaraki Prefecture, Japan\***

Ryo FUTAHASHI\*\*，\*\*\*

(Accepted October 8, 2019)

**Key words:** Odonata, *Aciagrion migratum*, Ibaraki Prefecture.

ホソミイトトンボ *Aciagrion migratum* (Selys, 1876) は、成虫で越冬するイトトンボ科 (Coenagrionidae) の種で、国内では関東地方南部から鹿児島県にかけて分布し、新潟県や石川県、栃木県でも単発的な記録がある (尾園ほか, 2017)。茨城県からは、これまで未記録であった (廣瀬, 1997; 二橋ほか, 2012; 尾園ほか, 2017) が、筆者はつくば市で本種を採集したので報告する。

茨城県からはこれまでに 92 種のトンボが記録されていたので (二橋ほか, 2012; 後藤・二橋, 2015)、本種は県内で 93 種目となる (移入種のリュウキウベニイトトンボを除く)。なお、標本はミュージアムパーク茨城県自然博物館が保管している。

## 採集記録

つくば市和台, 1 匹, 2019 年 6 月 19 日, 二橋 亮 (図 1)。

池の水面を飛翔しているところを発見し、直ちに採集した。採集個体以外には確認されなかったことから、飛来個体と考えられる。念のため、Futahashi and Sasamoto

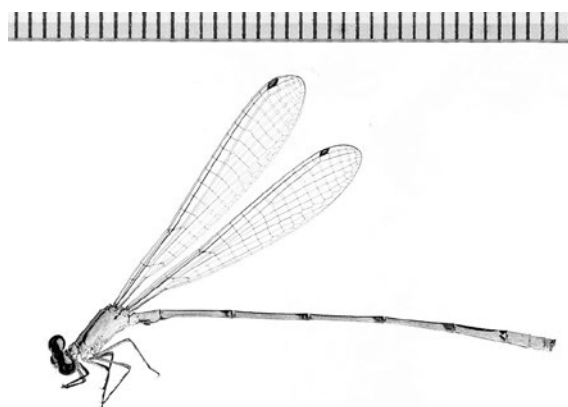


図 1. 茨城県産ホソミイトトンボ♂ (つくば市和台, 20190619, 二橋 亮採集)。

**Fig. 1.** A male of *Aciagrion migratum* recorded from Ibaraki Prefecture (collected by R. Futahashi on June 19, 2019 in Wadai, Tsukuba City).

(2012) と同様な手法で、核 DNA (ITS1, 5.8SrRNA, ITS2) およびミトコンドリア DNA (16SrRNA, COI) の解析を行ったが、これらの解析からもホソミイトトンボであることが裏付けられた (図 2)。なお、今回解析した結果からは、目立った地域差は認められなかった。決定した DNA の塩基配列は DDBJ/EMBL/GenBank データベ

\* 本研究の一部は JSPS 科研費 (18H02491) の助成を受けて実施された。

\*\* 産業技術総合研究所 〒305-8566 茨城県つくば市東 1-1-1 (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, 1-1-1 Higashi, Tsukuba, Ibaraki 305-8566, Japan)。

\*\*\* ミュージアムパーク茨城県自然博物館総合調査調査員。

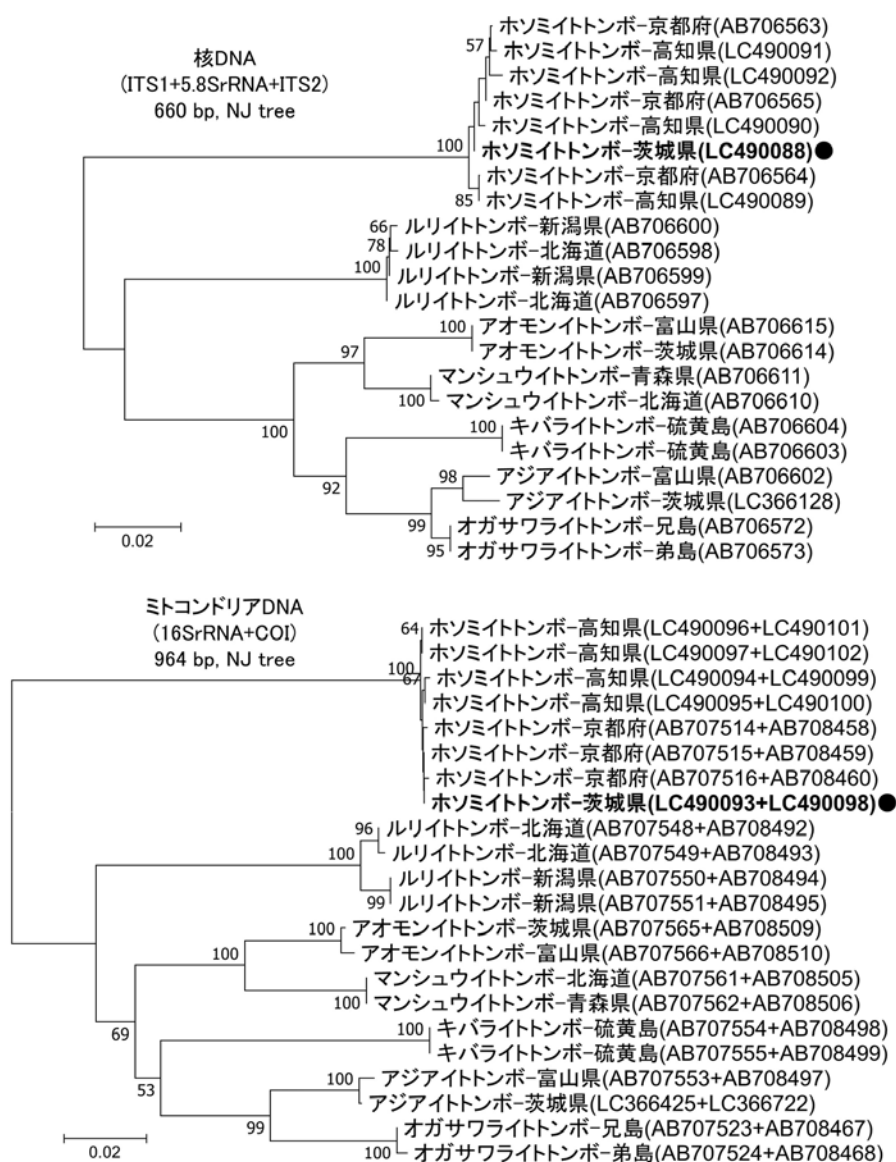


図 2. ホソミイトンボおよび近縁種の核 DNA (上), およびミトコンドリア DNA (下) に基づく NJ 法による分子系統樹. 数字はブートストラップ値. 茨城で採集された個体の結果を黒丸で示す. カッコ内にアクセッション番号を記した.

Fig. 2. Molecular phylogenetic tree of *A. migratum* and allied species based on nuclear DNA (above) and mitochondrial DNA (below) drawn by the neighbor-joining method. The numbers at the tree nodes represent the bootstrap values. *A. migratum* collected in Ibaraki Prefecture is indicated by filled circles. Accession numbers are shown in parentheses.

ースに登録した.

本種は越冬型と夏型の 2 型が存在するが, 採集個体は青みが強く, 前肩条に沿う黒条が細い越冬型の個体であった. なお, 関東地方では, 最近まで本種の報告例が非常に少なかったが, 2000 年代後半から神奈川県・埼玉県・千葉県など利根川の南西部で確認記録が増えており (互井, 2009; 喜多, 2015; 荻部ほか, 2018; 埼玉県, 2018; 千葉県, 2019), 群馬県でも 2016 年以降,

継続的に確認されていることから (岡崎, 2017; 岡崎, 2018), 県内でも今後, 追加で発見される可能性が高いと思われる.

末筆ながら, 関東地方の生息状況をご教示いただいた確井 徹, 岡崎太郎, 喜多英人, 染谷 保, 西田 彰, 松木和雄, 宮畑年弘, 渡辺 健の各氏 (五十音順), および調査に同行いただいた奥出絃太, 廣田 敏の各氏に御礼申し上げる.

## 引用文献

- 千葉県. 2019. 千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドリスト動物編 2019年改訂版. 40 pp., 千葉県.
- Futahashi R. and A. Sasamoto. 2012. Revision of the Japanese species of the genus *Rhipidolestes* (Megapodagrionidae) based on nuclear and mitochondrial gene genealogies, with a special reference of Kyushu-Yakushima population and Taiwan-Yaeyama population. *Tombo*, **54**: 107-122.
- 二橋 亮・山中武彦・植村好延・久松正樹. 2012. 茨城県におけるトンボ目の採集・撮影記録. 茨城県自然博物館研究報告, (15): 13-38.
- 後藤日出人・二橋 亮. 2015. 茨城県からエゾイトトンボ（トンボ目, イトトンボ科）を初記録. 茨城県自然博物館研究報告, (18): 53-55.
- 廣瀬 誠. 1997. 羽化の刻 茨城のトンボ誌. 181 pp., 茨城虫の会.
- 苅部治紀・川島逸郎・岸 一弘・石川 一. 2018. トンボ目. 神奈川県昆虫誌, 2018[1]: 45-81.
- 喜多英人. 2015. 2014年埼玉県内のホソミイトトンボの記録. 寄せ蛾記, (158): 15-16.
- 岡崎太郎. 2017. ホソミイトトンボ *Aciagrion migratum* (Selys, 1876) を群馬県で記録する. *Field Biologist*, **24** (2): 37.
- 岡崎太郎. 2018. 群馬県におけるホソミイトトンボ（トンボ目：イトトンボ科）の記録と季節型. *Field Biologist*, **25** (2): 45-47.
- 尾園 暁・川島逸郎・二橋 亮. 2017. ネイチャーガイド 日本のトンボ 第3版. 532 pp., 文一総合出版.
- 埼玉県. 2018. 埼玉県レッドデータブック動物編 2018. 420 pp., 埼玉県.
- 互井賢二. 2009. 千葉市におけるホソミイトトンボの若干の記録と新産地発見. 房総の昆虫, (43): 24-25.

(キーワード): トンボ目, ホソミイトトンボ, 茨城県.

